

2022年2月期 第1四半期決算 概要

単位：億円	2021年2月期 1 Q累計 実績	2022年2月期 1 Q累計	
		実績	前年同期比
営業収益	1,118	1,267	+149
事業利益	90	280	+190
持分法投資損益	▲ 2	▲ 4	△ 2
その他の損益	▲26	▲15	+ 11
金融損益	▲15	▲18	△ 2
税引前当期利益	47	244	+198
法人所得税費用	21	▲70	△ 91
非支配持分損益	▲10	▲39	△ 29
親会社所有者帰属利益	58	135	+ 77

単位：億円	2021年2月期 実績	2022年2月期 1 Q	
		実績	前年度末比
流動資産	5,840	6,558	+718
非流動資産	13,122	12,673	△450
使用権資産	5,812	5,684	△128
有形固定資産	1,419	1,318	△101
その他の金融資産	2,053	1,803	△249
その他	3,839	3,868	+ 29
負債	12,799	13,052	+253
有利子負債	1,148	994	△154
その他	11,651	12,058	+407
資本	6,164	6,179	+ 15

今期決算 トピックス

- 創立40周年のマーケティング各施策に関連した新商品や販促企画が奏功し、既存店日商は前年比105.4%と前年を大きく上回った。
- クリスピーキンやコンビニンスウェア等の新たな看板商品、デザートやパン等の定番商品が販売好調。店舗の稼働状況も回復し、消費者の生活変容に応じた品揃え強化により、都市部を含む全ての立地で売上・客数は前年を上回った。
- 近年の構造改革の成果も加え、事業利益・親会社所有者帰属利益は前年同期より大きく改善。基礎収益ベースでの年間計画進捗率は43.5%となった。
- 台湾ファミリーマート株式一部譲渡は2021年6月に完了しており、評価損益は第2四半期決算に含まれる。

主要な前期差 増減

- 親会社所有者帰属利益 前年同期比 + 77億円（58億円→135億円）
- 日商回復および販売管理費の改善 等 + 106億円
 - 一過性利益における差異（前期海外事業売却分 等） △ 29億円